

テイネ例会は中止

齋藤みはる

3月8日午前9時15分手稲ハイランドセンターハウス3F「スカデイ」に野尻さん、奈良孝一さん、和栄さん、栗原さん、志岐さん幹事2人が集合しました。

強風でハイランドはリフト1基のみ運行で Gondolaは中止でした。オリンピックはリフト運行していましたが、オリンピックからハイランドまでバス運行があると言うことでしたが、降雪があり他のクラブも、競技大会も中止しており、30分ほど悩みましたが検討の安全第一を重視して我々も例回中止を決定しました。

その後朝早くオープンしている所も無いようなのでここ「スカデイ」でお茶しました。

前夜 鶴野富美子さんと幹事2人で悩みました。天候は本当に読めませんね。集合していただいた方たちに本当に申し訳ありませんでした。お茶しながらスキー談義ができてよかったです。う声があつて幹事2人にとってせめてもの慰めになりました。

今回は決行中止をどこ段階で判断するか、ある程度の基準があるといいと思いました。また集合後の中止の場合何か事後策や「スキー座学おしゃべりタイム」レジャスポ(室内あそび)やランチなどできたらいいいと思えました。さららない反省の幹事2人でした(参加者7



野尻せい子

今シーズンの例会におもう

12月21日 札幌国際での例会予定がもう事か 雨のために中止。

1月11日 当初予定の夕張レースイを設備の都合で札幌国際に変更したのに 今度は強風のため営業停止。3月8日のテイネ例会は前日から強風予報がある中、「ダメならオリンピックがある。」なんて思いながら車を進めていくと オリンピアの辺りからガスが見え始める。情報収集も出来ずにハイランドに到着。参加者7名が集結して エイトゴンドラが運行停止、パラダイスリフトのみの運行である事を確認。 幹事さんが今後の予想を券売所で確認して例会の中止を決定しました。

予定されていた女子大回転バーンでの大会も中止され、スキー協の関係者も見当たらず。手持無沙汰の我々は仕方なしに レストランで空しくお茶タイムをして解散。

それにしても 地球沸騰化の中でいつまでスキーが出来るのだろうか。

羊ヶ丘スラローム

ニュース 2026年4月1日発行

札幌国際スキー場あれこれ 志岐伸子

3月20日祝日、会員12名とポーランドからの留学生ベロニカさんをお迎えし13名でのスラローム例会となった。

当日は、晴天なり。ゲレンデの混雑もなくスピード派、ゆったり派、自由にコース取りをして滑走をたのしんだ。私は、奈良さんから、2種のプルークの講習を受けた。そのプルークで背中から転んだ。五体投地で厄落し。

さて、久しぶりのスキー場は、国際化が加速していた。新しいラウンジには、イスラム教の祈禱所が設置され、ゴンドラ1回利用は2500円でできる。

当日は、20名ほどのアジアからの観光客がみえていたので、きっと山頂からの展望を楽しんだのではないか。下山してジーンズカンを頬張のかしらいいですね。

スキーは、体力、技術を要し危険をはらみ、更に自然には抗えないスポーツ、魅力的だ。4月5日の例会で、またお目にかかりましょう。

(参加12名+1名)



3月例会は5日(日)国際例会、12日(日)納会です